

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時： 令和5年11月2日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 卒業生の寄付による奨学金とベンチャー企業支援～「山形大学 山口祥二特定基金」を制定～
2. デジタルイノベーションに向けた新たな教育組織設置構想
3. 内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択
4. 社会共創シンポジウムを開催します～テーマ『農村地域のレジリエンス力強化戦略：カーボンニュートラルと地域防災』～
5. 高村光太郎の名作 東北6県の高校生 朗読を競う～第16回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～
6. オペラ歌手 協園 彩 氏による学生の公開レッスンをを行います
7. 山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」を更新！～「まちの記憶を残し隊」や自治体・企業などのデータ約1400点を追加～
8. 「まちの記憶を残し隊」が「山形五堰パンフレット」を作成！～「山形五堰」のゆるキャラ・まちあるきマップも爆誕！～
9. 第51回山形大学模擬裁判公演のお知らせ～禁忌と言われた問題、その先にあるものとは～

お知らせ

1. 東日本重粒子センターが火星探査機搭載機器開発に貢献～株式会社ファムサイエンスと共同研究開始、宇宙航空研究開発機構(JAXA)も参加～
2. 東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催～重粒子線がん治療の可能性～
3. 山形大学学生チャレンジプロジェクト みちくさ縁日 2023～最上地域の子どもたちと「楽しい！」をつくりたい～
4. 「1日山形大学 in 仙台」を開催します
5. 第6回学びのフォーラムを開催します
6. 「後醍醐天皇と足利尊氏～ライバルたちのレクイエム～」～南北朝の動乱を生きた6名の古文書を展示中～
7. 小白川キャンパスで「炊き出し訓練」開催一留学生や近隣の皆様と一緒に活動しながら地域防災について考えますー

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和5年12月7日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（11月2日）発表

- 卒業生の寄付による奨学金とベンチャー企業支援～「山形大学 山口祥二特定基金」を制定～
学 長 たまたま 玉手 ひでとし 英利
- デジタルイノベーションに向けた新たな教育組織設置構想
学 長 たまたま 玉手 ひでとし 英利
理事（教育、入学試験担当）・副学長 でぐち 出口 たけし 毅
- 内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択
理事（研究、産学連携担当）・副学長 いいづか 飯塚 ひろし 博
- 社会共創シンポジウムを開催します～テーマ『農村地域のレジリエンス力強化戦略：カーボンニュートラルと地域防災』～
副学長（社会共創担当）  やおもり かつら 大森 桂
- 高村光太郎の名作 東北6県の高校生 朗読を競う～第16回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～
学術研究院 教授（日本文学） やまもと 山本 はるふみ 陽史
羽黒高等学校 3年 すがわら 菅原 こうよう 向陽
- オペラ歌手 脇園 彩 氏による学生の公開レッスンを行います
学術研究院 講師（地域教育文化学部主担当） ふかせ 深瀬 れん 廉
- 山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」を更新！～「まちの記憶を残し隊」や自治体・企業などのデータ約1400点を追加～
学術研究院 准教授（人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員） おぼた 小幡 けいすけ 圭祐
- 「まちの記憶を残し隊」が「山形五堰パンフレット」を作成！～「山形五堰」のゆるキャラ・まちあるきマップも爆誕！～
学術研究院 准教授（人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員） おぼた 小幡 けいすけ 圭祐
人文社会科学部人文社会科学科3年 たかはし 高橋 れい か 怜華
地域教育文化学部地域教育文化学科1年 は が 芳賀 ひより 日和
- 第51回山形大学模擬裁判公演のお知らせ～禁忌と言われた問題、その先にあるものとは～
第51代模擬裁判実行委員会委員長 まるた 丸田 そう 蒼
第51代模擬裁判実行委員会脚本部長 さわい 澤井 あおい 葵
次期第52代模擬裁判実行委員会委員長 まつい 松井 ともや 友哉

令和5年（2023年）11月2日

卒業生の寄付による奨学金とベンチャー企業支援

～「山形大学 山口祥二特定基金」を制定～

【本件のポイント】

- 米沢市在住の山口祥二様（昭和25年、米沢工業専門学校（工学部の前身）卒）・靖様ご夫妻からのご寄付（7,000万円相当の有価証券）があった。
- 米沢キャンパスに在籍する学生の奨学金と教員・学生のベンチャー企業支援に活用して欲しいとのことで、令和5年10月11日付けで、「山形大学 山口祥二特定基金」を制定した。
- 山口様の母校への想いに感謝の意を表するため、11月6日（月）に母校である旧米沢高等工業学校本館で感謝状贈呈式を行う。



【概要】

山形大学は、令和5年10月11日付けで、「山形大学 山口祥二特定基金」を制定しました。

本基金は、米沢市在住で、昭和25年3月に本学工学部の前身である米沢工業専門学校機械科を卒業された山口祥二（やまぐち しょうじ）様と山口靖（やす）様ご夫妻からのご寄付（7,000万円相当の有価証券）を原資とし、毎年の分配金を以下の2つの用途に充てるものです。

- ① 山口祥二様の後輩である米沢キャンパスに在籍する学生の奨学金
- ② 米沢キャンパスに在籍する教員や学生のベンチャー企業支援

なお、①については、GPA（Grade Point Average）3.0以上で、日本学生支援機構の奨学金に採択されない学生への給付、②については、教職員・学生によるベンチャー企業のイベント支援、製品開発支援、OB等とのコネクション支援を予定しています。

ご寄付された山口祥二様は今回のご寄付に対し、「母校の工学部を支援したい」とコメントされています。

また、山口様の母校への想いに感謝の意を表するため、以下の内容で感謝状贈呈式を行いますので、取材いただけますようお願いいたします。

【山口祥二様への感謝状贈呈式】

日時：令和5年11月6日（月）11:30-12:15
会場：旧米沢高等工業学校本館前（国指定重要文化財）
内容：11:30 本館前での記念撮影（悪天候の場合は玄関先で）
11:40 開会
1. 玉手英利学長の御礼挨拶
2. 感謝状の贈呈
3. 「山口祥二特定基金」の用途説明
黒田充紀米沢キャンパス長
4. 山口祥二様のご挨拶
5. 質疑応答
12:15 閉会



会場の旧米沢高等工業学校本館（山口様の母校）

お問い合わせ

山形大学基金事務局（総務部社会共創推進事務室）
TEL 023-628-4497
メール yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和5年（2023年）11月2日

デジタルイノベーションに向けた新たな教育組織設置構想

【本件のポイント】

- 2025年4月に、デジタル技術を活用した社会課題の解決をリードできる人材養成のために、学士課程及び大学院課程において新たに2つの教育組織の設置を構想
- 地域の企業・自治体等と連携した教育プログラム（インターンシップ等）を実施することにより、デジタル人材の地域定着を目指す。



【概要】

国際経営開発研究所の試算によると、日本のデジタル競争力は29位となっており、先進諸国の中では低い状況にある。また、IT人材需給に関する試算では、人材のスキル転換が停滞した場合、2030年には先端IT人材が54.5万人不足するという調査結果もあり、日本企業がDXの取組を進めるに当たっての課題として人材不足を掲げる企業は、米国（27.2%）やドイツ（31.7%）と比較して日本（53.1%）は高い割合を占めている。

また、デジタル田園都市国家構想の検討においては、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材を「デジタル推進人材」と位置づけ2026年度までに230万人の育成を目指すことが示されている。

そこで、山形大学では、上記の喫緊の課題に対応するために、昭和48年に医学部を設置し6学部体制になって以来の第7の新たな学部相当組織として、令和7年4月に「社会共創デジタル学環（仮称）（学部等連係課程）」を設置する構想を策定した。

さらに、大学院課程においても、南東北地域のデジタル人材育成の中核を目指し、高度情報専門人材養成を大幅に拡充すべく、令和7年4月に大学院理工学研究科「数理情報システム科学専攻（仮称）」を設置する構想を策定した。

【設置構想】

1. 社会共創デジタル学環（仮称）

入学定員：30名

特 色：データサイエンス教育、ビジネス・アントレプレナーシップ教育を中心に、やまがた社会共創プラットフォームと連携し、山形県をフィールドとする実践的な課題解決型教育を実施

2. 大学院理工学研究科 博士前期課程 数理情報システム科学専攻（仮称）

入学定員：88名

特 色：情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を習得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決のため、5G・IoT・AIコンソーシアムと連携し、インターンシップ等の実践的な教育を実施

※上記設置構想は、今後さらに具体化を図り、文部科学省 大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定。構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性はある。

※学部等連係課程は、2019年8月に改正された大学設置基準により新たに設けられた制度であり、既存の学部等の教育資源を活用した分野横断的な学位プログラムである。大学における教育研究上の基本組織である「学部」に相当する組織にあたる。

お問い合わせ

企画戦略室長 川田

TEL 023-628-4190

メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学
Yamagata University

デジタルイノベーションに向けた 新たな教育組織設置構想

山形大学長
玉手 英利

山形大学 教育担当理事
出口 毅

令和5年11月2日(木)

1. 社会共創デジタル学環（仮称）

社会共創デジタル学環設置構想策定の経緯

2040年に向けた高等教育のグランドデザイン答申

- ・必要とされる人材像と高等教育の目指すべき姿（**普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていく**）
- ・多様で柔軟な教育プログラム（**文理横断・学修の幅を広げる教育、時代の変化に応じた迅速かつ柔軟なプログラム編成**）

第6期科学技術・イノベーション基本計画

- ・日本全体をSociety5.0へと転換するため、多様な幸せを追求し、**課題に立ち向かう人材を育成**する。

我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）（教育未来創造会議）

- 今後特に重視する人材育成の視点
 - ・予測不可能な時代に必要な**文理の壁を超えた普遍的知識・能力を備えた人材育成**
 - ・**デジタル、人工知能、グリーン（脱炭素化など）、農業、観光など科学技術や地域振興の成長分野をけん引する高度専門人材の育成**

山形大学将来ビジョン

<教育のビジョン>

山形大学は、地域・社会の「コモンズ」として、学生と地域の人々をつなぎ、多様な「共育」環境を生み出しながら、学生が自分の成長を実感できる学びを提供していきます。社会のいかなる変化にも対応できる「深く考え実行する力」と「果敢に挑戦する心」を持ち、他者と力を合わせて持続可能な幸福社会を創りあげる人材を育てます。

<社会共創のビジョン>

山形大学は「コモンズ」でつながる地域の人々・組織と共に、幸福社会の活力となる多様な人材と地域に根ざした新たな価値を創出し、頼れる知のパートナーとして、地域の持続的発展を支える社会基盤となります。

山形大学第4期中期計画

令和3年度に実施した基盤共通教育の検証結果を踏まえ、基盤共通教育を再構築する。また、幅広い教養を身に付けた人材を養成するために、**新たな社会のニーズに応じた文理横断的な教育プログラムを導入する。**

デジタルを活用した 新たな文理横断学位プログラムの導入

主体的・協働的学習に取り組んだ高校生の受け皿

- ・山形県では、平成30年以降、**探究科・普通科探究コース**の設置を推進。
- ・山形県内の企業・教育機関・自治体が連携して“**One山形**”で取り組む、AIプログラミング教育「**やまがたAI部**」の活躍。2022年度は21校/130人以上の高校生が入部。

地域社会のニーズ

- ・**地域連携プラットフォーム「やまがた社会共創プラットフォーム」**加盟機関に、山形大学に対して、どのような資質・能力等を備えた人材を養成してほしいかアンケート調査を実施した結果、「**課題発見・解決能力**」「**主体性**」「**コミュニケーション能力**」と回答した機関が上位を占めた。

社会共創デジタル学環の概要

小白川キャンパス3学部の専門知と強みを 結集した文理融合の学び

人と共創

×

マネジメント

×

データサイエンス

人文社会科学部

地域教育文化学部

理学部

アントレプレナーシップ
教育研究センター

社会共創推進室

データサイエンス
教育研究推進センター

人と共創し、データに基づく価値創造で
地域社会をマネジメントする

地域課題の共有

地域課題の分析、課題解決

やまがた社会共創プラットフォーム

山形県及び県内全市町村、主要経済団体及び県内全高等教育機関の60機関の参加により、令和4年10月に設置（山形大学が事務局を務める）

社会共創デジタル学環が養成する人材像

1

文理を横断した学習により幅広い専門分野の知識を身に付け、自身の有する能力を活かしながら様々な原因が複雑に絡み合う地域課題の解決に挑戦することができる人材

2

異なる背景や能力をもつ多様な人々と協働して地域課題の解決に取り組めるチームング力とコミュニケーション力、および課題に応じたリーダーシップやフォロワーシップを発揮することができる人材

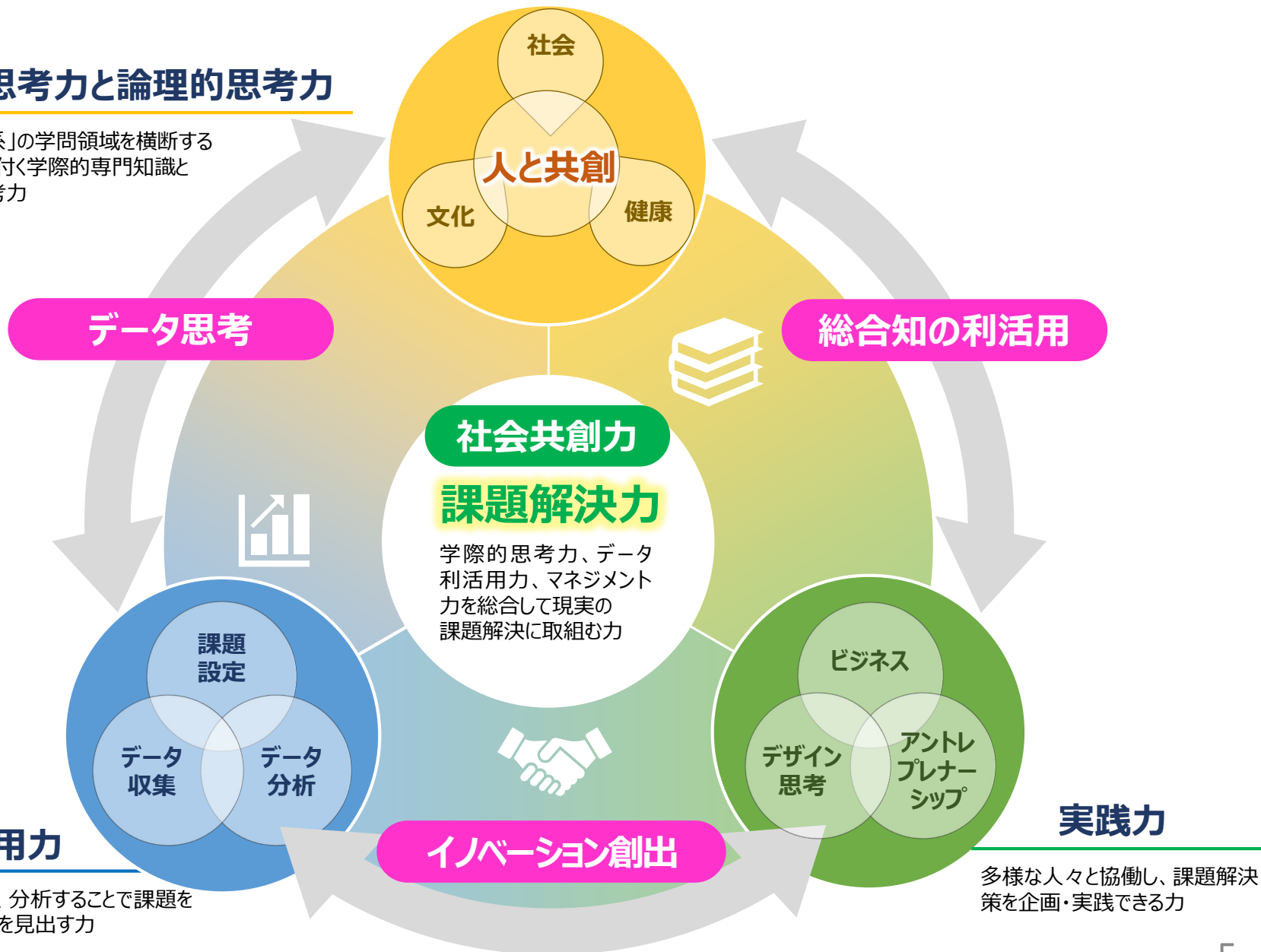
3

アントレプレナーシップやビジネスの視点を持ち、データを活用して地域社会における課題の発見や分析、解決のための企画立案、新しい地域価値の創造に貢献できる人材

社会共創デジタル学環の専門力

学際的思考力と論理的思考力

「文系・理系」の学問領域を横断する
学びで身に付く学際的専門知識と
論理的思考力



(参考) 学部等連係課程・学環とは

・学部等連係課程は、令和元年 8 月に改正された大学設置基準により新たに設けられた制度であり、2 つ以上の学部等の教育資源（教員、入学定員、施設設備等）を活用した分野横断的な学位プログラムのこと。大学における教育研究上の基本組織である「**学部**」に相当する組織

・学環とは、学部等連係課程の名称の一つとして、多く使用されている。連係協力学部が有する**教育研究における強みや特色、ノウハウを結集し、新たな連係の「環」**により学問領域をつなげ、強固な教育研究基盤に基づく教育課程を意味する。また、学生と教員、地域のステークホルダーが、それぞれの立場や環境を超えて目的を共有することで、**大学と地域の人々をつなぐ連係の「環」**が形成され、社会が抱える複雑かつ多様な課題に対する解決力を備えた人材を養成することも意味している。

・国立大学での設置例

岐阜大学 社会システム経営学環（令和 3 年 4 月）

和歌山大学 社会インフォマティクス学環（令和 5 年 4 月）

熊本大学 地域未来共創学環（令和 6 年 4 月）

茨城大学 情報融合学環（令和 6 年 4 月）

2. 大学院理工学研究科博士前期課程 数理情報システム科学専攻（仮称）

数理情報システム科学専攻設置構想策定の経緯

成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援

令和4年度第2次補正予算額 3,002億円



文部科学省

背景・課題

- デジタル化の加速度的な進展や脱炭素の世界的な潮流は、これまでの産業構造を抜本的に変革するだけでなく、労働需要の在り方にも根源的な変化をもたらすと予想される。
- 一方、日本では大学で理工系を専攻する学生がOECD平均より低いうえに、OECD諸国の多くが理工系学部の学生数を増やしているなか、日本ではほとんど変わっていない。

※ 大学学部段階における理工系への入学者割合 **日本17%**、OECD平均 27%

※ 理系学部の学位取得者割合

【国際比較】 **日本 35%**、仏 31%、米 38%、韓 42%、独 42%、英 45%

【国内比較】 国立大学 57%、公立大学 43%、私立大学 29%

(注) 「理・工・農・医・歯・薬・保健」及びこれらの学際的なものについて「その他」区分のうち推計

- デジタル化、脱炭素化等のメガトレンドを踏まえた教育・人材育成における「成長と分配の好循環」を実現するため、高度専門人材の育成を担う大学・高専が予見可能性をもって大胆な組織再編に取り組める安定的な支援が必要。

「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」

(令和4年10月28日閣議決定)

第2章 経済再生に向けた具体的施策

Ⅲ 新しい資本主義の加速

1. 「人への投資」の抜本強化と成長分野への労働移動：
構造的賃上げに向けた一体改革

(1) 人への投資の強化と労働移動の円滑化

学校教育段階から社会で活躍し評価される人材を育成していくため、成長分野への大学・高専の学部再編等促進(※)、(略)等を進めていく。

※ デジタル・グリーン等の成長分野への再編計画等を
令和14年度までに区切って集中的に受け付け、
大学・高専の迅速な学部再編等を促進する。

・ 成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた
基金による継続的支援策の創設 (文部科学省)

事業内容

デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲ある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革に予見可能性をもって踏み切れるよう、新たに基金を創設し、機動的かつ継続的な支援を行う。

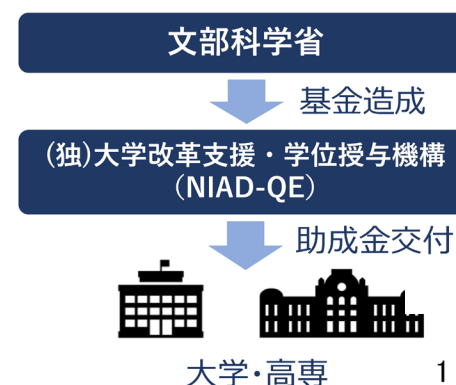
① 学部再編等による特定成長分野（デジタル・グリーン等）への転換等支援

- 支援内容：学部再編等に必要な経費（検討・準備段階から完成年度まで）
- 支援対象：私立・公立の大学

② 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援

- 支援内容：情報科学系学部・研究科を有する大学の体制強化に必要な経費
高等専門学校における情報系学科・コースの新設・拡充に必要な経費
- 支援対象：国公私立の大学（大学院を含む）・高専

【事業スキーム】



大学・高専

数理情報システム科学専攻設置構想策定の経緯

< 社会ニーズ >

- ① 次世代の情報産業およびその基盤技術の構築、およびサイバー・フィジカル融合を促進する情報創成人材の育成
- ② 地域産業のデジタル化支援及び人材育成：地域の産業界と連携したデジタル化の導入をけん引する高度情報専門人材の育成
- ③ 教育研究機関との連携：地域の初等中等機関、高専、他大学などと連携したデジタル教育の推進やデジタルリテラシーの向上
- ④ 地域の公共サービスのデジタル化や持続可能な開発への貢献

統合・拡充

理学専攻
データサイエンス領域
(小白川)



情報・
エレクトロニクス専攻
(米沢)

学内の情報の知を総結集し、情報に特化した新たな専攻を設置

数理情報システム科学専攻の概要

<設置目的>

学内外の情報とデジタルの知を結集し、地域のデジタル・イノベーションをリード

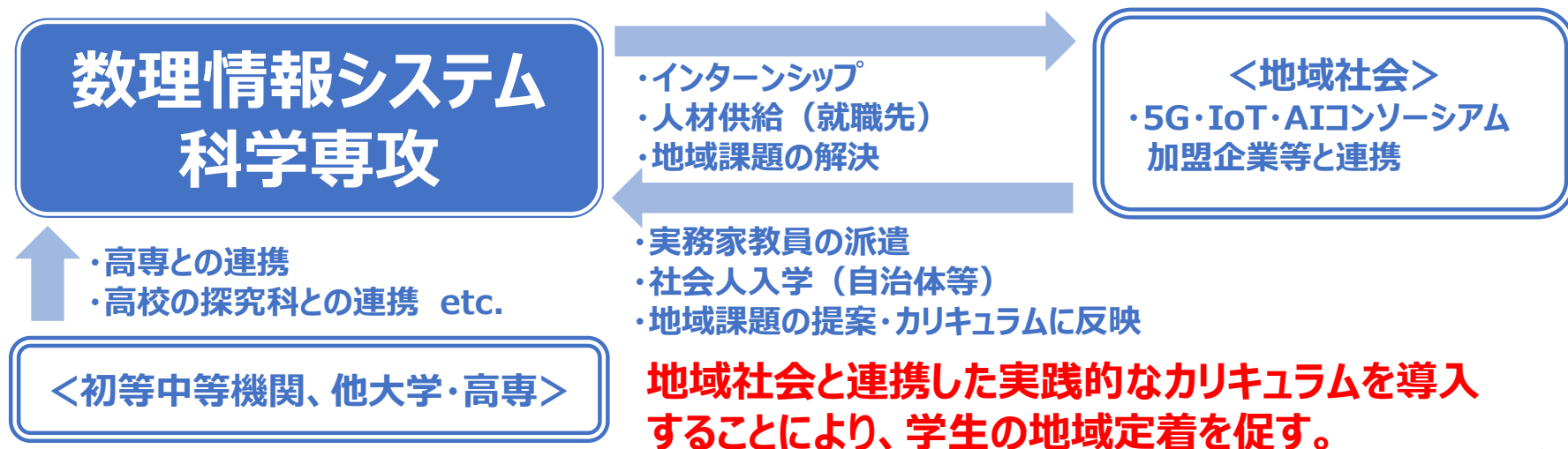
<育成する人材>

情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を修得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決をリードする高度情報専門人材

<入学定員>

88名（既設68名に加え、新たに20名増）

※既設置の理学専攻数理科学分野データサイエンス領域、情報・エレクトロニクス専攻を統合・拡充。



入学定員移行表（大学院博士前期課程）

（現 行）

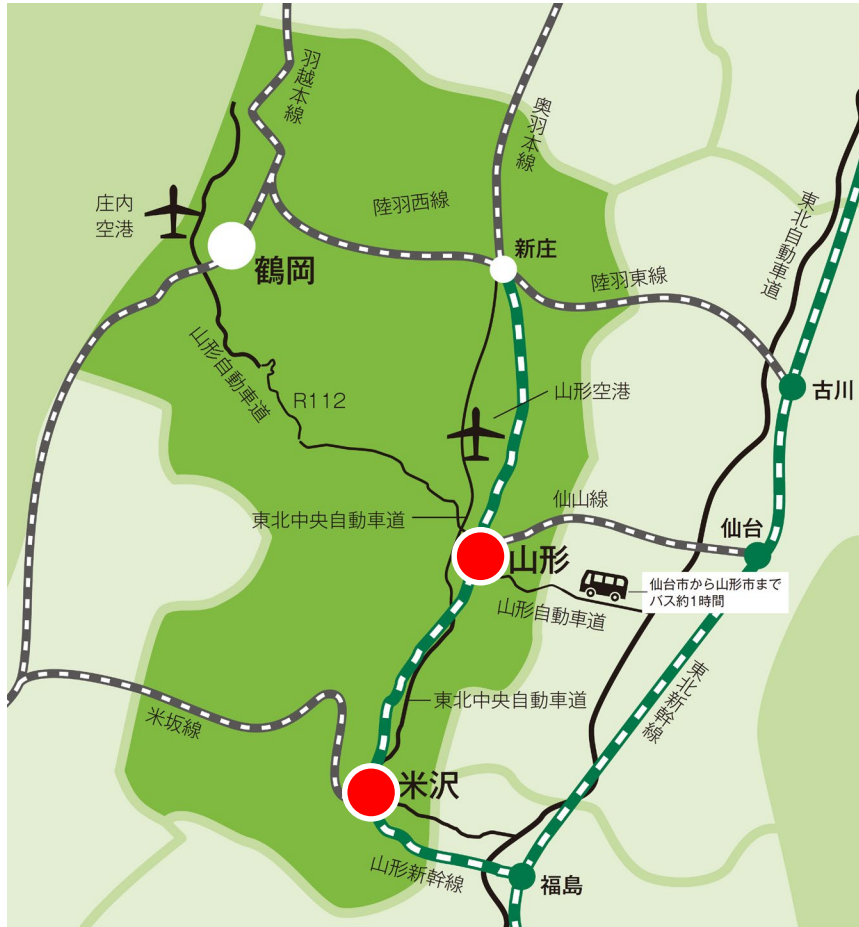
研究科・専攻	入学定員
【社会文化創造研究科】 社会文化創造専攻	24 24
【医学系研究科】 看護学専攻 先進的医科学専攻	16 10 6
【理工学研究科】 理学専攻 情報・エレクトロニクス専攻 化学・バイオ工学専攻 機械システム工学専攻 建築・デザイン・マネジメント専攻	257 53 62 67 63 12
【有機材料システム研究科】 有機材料システム専攻	98 98
【農学研究科】 農学専攻	38 38
合計	433



（令和7年4月～）

研究科・専攻	入学定員
【社会文化創造研究科】 社会文化創造専攻	24 24
【医学系研究科】 看護学専攻 先進的医科学専攻	16 10 6
【理工学研究科】 理学専攻 数理情報システム科学専攻 化学・バイオ工学専攻 機械システム工学専攻 建築・デザイン・マネジメント専攻	277 47 88 67 63 12
【有機材料システム研究科】 有機材料システム専攻	98 98
【農学研究科】 農学専攻	38 38
合計	453

教育環境



新専攻は、小白川キャンパス（山形市）と米沢キャンパスにおいて、共通のカリキュラムで行います。そのため、オンラインで受講できる教育環境を今後整備します。

また、教員については、小白川キャンパスにデータサイエンス分野を中心に10名程度、米沢キャンパスに情報・エレクトロニクス分野を中心に30名程度配置します。

今後のスケジュール

本構想については、今後さらに具体化を図り、随時、本学ホームページで情報発信していきます。

＜新組織設置までのスケジュール＞

令和6年4月頃	文部科学省に新組織設置の届出
6月頃	文部科学省から結果伝達
7月頃	学生募集要項公表
秋～冬	入学試験
令和7年4月	新組織設置

＜留意事項＞

本構想は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定であり、構想は審査結果によって確定いたしますので、変更の可能性があります。

（参考）デジタル社会に向かう山形大学の取組

山形大学では、ステークホルダーの皆さまに本学をより深く理解していただくことを念頭に、2022年度より財務情報と非財務情報を統合的に報告する「統合報告書」を作成しています。

今回の統合報告書では、「デジタル」を大きなテーマに捉え、「デジタル」の視点から、人材育成、教育研究および業務運営の取組をご紹介します。

令和5年（2023年）11月2日

内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択

【本件のポイント】

- 内閣府の令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に本学が採択。
（令和5年度配分額1.5億円）
- 本学の強みである有機材料システムを核とする社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成する。
- 事業期間は令和6年度までの原則2年間。

【概要】

内閣府の令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に本学が採択（申請件数38件のうち、採択10件。）されました。

同事業は、地域の中核となる大学が、独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた地域行政や産業界からの投資誘発を通じて、大学の財源多様化を進める事業です。

本学は、同事業において、強みである有機材料システムを核とした本学の社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成することを目指します。また、本事業を通じて地域の課題解決に貢献するとともに、地域中核大学としての機能の更なる充実を図ることによって、本学の経営基盤の強化を図ります

<主な取組（予定）>

- 取組1 地域の社会課題の発掘と解決策の方向性の提示（ニーズとシーズとのマッチング）
・・・産学官金医連携、県内における企業支援等関係機関との連携強化 他
- 取組2 地域の社会課題解決に資するイノベーションのシーズ創出
・・・YU-COEによるシーズ創出、山形大学異分野交流学会による社会課題の共有 他
- 取組3 イノベーション・シーズの地域産業界への技術移転の促進
・・・支援人材の強化。大学発ベンチャー支援 他
- 取組4 地域発のスタートアップの創出と育成
・・・ソーシャルイノベーション人材、DX人材の育成 他

※概要裏面のとおり

<参考> 令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」の選定結果について（令和5年10月5日）
内閣府 HP <https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20231005daigaku.html>

お問い合わせ

研究情報部（五味・下間）

TEL 023-628-4844 メール yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和5年度 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 構想概要 | 山形大学



構想概要

山形県の課題（イノベーションが起こりにくい構造）を山形大学の社会実装力で解決する

山形大学の強みである有機材料システムを核とする本学の社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成する。本事業を通じて、地域の課題解決に貢献するとともに、地域中核大学としての機能の更なる充実を図ることにより、本学の経営基盤を強化する。

山形県の課題 | イノベーションが起こりにくい構造

労働生産性 低 県平均3,796千円 (全国5,499千円)	平均所得 低 県平均289.8万円 (全国461.0万円)
創業比率 低 県平均3.63% (全国5.04%)	生産年齢人口流出 全国1位 社会減少率0.32%

下請け構造から脱却するための
新事業・新ビジネス創出
の基盤となる
イノベーションエコシステム
の形成が必要

本学の社会実装力 | 強み“有機材料システム”を核に

有機材料システム



国際的研究拠点
- 基礎研究力
- 研究施設・装置
- 企業との共同研究
産学融合拠点創出事業
Jイノベ | 経済産業省 - 高度専門人材育成

アグリフードシステム 先端研究センター

食と農の高付加価値化
鶴岡バイオコミュニティ | 内閣府

アントレプレナーシップ 教育研究センター

一気通貫の人材育成
仙台スタートアップ・エコシステム
| 内閣府

具体的な取組み | 本学の社会実装力を結集し新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムの形成

(1) 地域の社会課題の発掘と解決策の方向性の提示

- ①やまがた社会共創プラットフォームを活用した
ニーズオリエンテッド産学官金医連携
- ②県内における企業支援等関係機関との連携



(2) 地域の社会課題解決に資するイノベーションのシーズ創出

- ①先進的研究拠点(YU-COE)における
イノベーションのシーズ創出
- ②山形大学異分野交流学会・セミナー
による地域の社会課題の共有



- ①知的財産（研究成果を含む）を活用した
技術移転機能の強化
- ②大学発ベンチャー企業による
新ビジネスの創出



- ①ソーシャルイノベーション人材の創出
- ②DX基盤強化推進リーダー育成



(3) イノベーション・シーズの地域産業界への技術移転の促進

(4) 地域発のスタートアップの創出と育成

社会実装力
地域課題解決
経営基盤強化

令和5年（2023年）11月2日

社会共創シンポジウムを開催します

～テーマ『農村地域のレジリエンス強化戦略：カーボンニュートラルと地域防災』～

【本件のポイント】

- 連携協定を締結している飯豊町と本学は、昨年の豪雨災害の調査・報告書の作成及びカーボンニュートラル社会の見える化を図る「飯豊モデル」構築。
- 山形県と本学は、昨年12月に締結した協定に基づき、カーボンニュートラルに関する普及啓発等において連携して取組みを進めていくこととしている。
- 11月22日に本学の将来ビジョン「つなぐちから。山形大学」に基づき、上記の活動についてシンポジウムを開催し、「飯豊モデル」を「やまがたモデル」に展開すべく、広く県内に周知する。



【概要】

山形大学は、2022年4月に将来ビジョン「つなぐちから。山形大学」を公表し、「多様な人々が出会い活躍する「コモンズ」として、地域から愛され、地域と共に発展する大学」になると宣言しました。

本シンポジウムは、この宣言の具現化を図るために飯豊町で実施している地域防災とカーボンニュートラルの活動を、昨年構築した「やまがた社会共創プラットフォーム」を活用し、県内自治体をはじめとする地域の皆様に広く紹介し、人口減少が続く農村地域のレジリエンス強化戦略を考える機会とすべく、山形県と飯豊町の協力を得て開催するものです。

背景

近年多発している豪雨災害は、温室効果を持つ二酸化炭素排出量の増加が原因の一端を担っていると言われており、昨年大きな被害を受けた飯豊町について、本学の災害環境科学研究センターが現地調査を行い変状や被害状況を報告しています。飯豊町とは、平成28年1月に連携・協力に関する包括協定を締結し、令和4年12月には、同町の地域おこし協力隊2名を「YU-SDGs 連携研究員」に委嘱の上、本学教員と共にカーボンニュートラルを実現する「飯豊モデル」構築のための調査・研究を実施し、令和5年8月に成果を公開しました。

また、山形県とも、令和4年12月に「カーボンニュートラル実現に向けた取組みに関する連携協定」を締結しており、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する人材の育成や普及啓発等に関して連携して取組みを進めていくこととしております。

本シンポジウムは、カーボンニュートラルの取組みを実施していた飯豊町が豪雨災害による被害を受けたことから、異常気象による災害と一因である二酸化炭素の排出をゼロにするカーボンニュートラルの取組み「飯豊モデル」を結びつけ、昨年構築した「やまがた社会共創プラットフォーム」を活用して広く県内に周知して、「飯豊モデル」を「やまがたモデル」として県内展開を図る一助とするものです。

開催日時

日時：2023年11月22日（水曜日） 13：00-16：00

会場：ホテルメトロポリタン山形

対象：自治体職員を中心とする一般の方

詳細：[YU-SDGs EmpowerStation](https://www.yu-sdgs.jp/empowerstation/) または別添チラシをご確認ください。

お問い合わせ

国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyouyou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

飯 豊 町
×
山形大学

農村地域の レジリエンス力 強化戦略

カーボンニュートラル
& 地域防災

山形県内で初めて「SDGs 未来都市」に選出された飯豊町と、将来ビジョン「つながちから。山形大学」で、「地域から愛され、地域と共に発展する大学」になると宣言した山形大学が協働で実施しているカーボンニュートラルと地域防災の活動を紹介し、人口減少などの共通の課題を抱える農村地域がこれからの社会に柔軟に対応していくための戦略を県民の皆さまとともに考える場といたします。

参加無料

先着100名

2023.11.22 水

13:00-16:00 メトロポリタン山形

対象 一般の方（主に自治体職員の方） 申込締切 2023.11.17 金 まで

こちらのページから
お申込みください▼



講演① 豪雨災害等に対する地域防災の取り組み

山形大学 教授 本山 功（山形大学災害環境科学研究センター長）

講演② 飯豊町におけるカーボンニュートラルの取り組み

飯豊町 地域おこし協力隊 小野 優太郎（山形大学連携研究員）× 山形大学 副学長・教授 林田 光祐（山形大学 SDGs 推進室長）

シンポジウム レジリエンス力強化のための「山形モデル」の展開

ファシリテーター 山形大学 副学長・教授 林田 光祐

パネリスト 山形県 環境企画課長 兼 カーボンニュートラル・GX 戦略室長 遠藤 和之 × 飯豊町 副町長 高橋 弘之 × 飯豊町 地域おこし協力隊 小野 優太郎 × 山形大学 副学長・教授 大森 桂（山形大学社会共創推進室長）× 山形大学 教授 本山 功

主催：国立大学法人山形大学

協力：山形県環境エネルギー部・飯豊町・やまがた社会共創プラットフォーム

国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室

TEL.023-628-4615 yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）11月2日

高村光太郎の名作 東北6県の高校生 朗読を競う

～第16回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～

【本件のポイント】

- 第16回山形大学高校生朗読コンクールの審査結果を発表します。
- 本選出場者15名の中から、上位3名を山形大学学長賞として選出しました。
- 本選の様子は、山形大学公式YouTubeチャンネルにより一般公開します。



【概要】

山形大学は地域社会との連携をより深める事を目的に、東北6県の高校生の文化交流を支援するため、第16回山形大学高校生朗読コンクールを開催しました。

令和5年度も録音による審査によって開催しました。東北4県の高校26校177名の高校生により競われた予選審査を通過し、本選に出場した15名の高校生は高村光太郎の名作「智恵子抄」を朗読しました。

上位3名を山形大学学長賞として選出し、他の本選出場者も入選として表彰しました。

本選の様子は、山形大学公式YouTubeチャンネルにより一般公開します。

なお、本コンクールの企画運営は基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」（担当教員：山本陽史）の受講学生が行い、YouTubeの動画撮影・編集は山形大学放送研究会の学生に御協力いただき開催いたしました。

【審査結果】

《 山形大学学長賞 》

第1位	菅原 向陽	羽黒高等学校
第2位	川田 あかり	宮城県泉館山高等学校
第3位	猪狩 咲也香	福島県立安積黎明高等学校

《 入 選 》

新海 玲奈	宮城県仙台三桜高等学校	斎藤 せり	聖ウルスラ学院英智高等学校
鈴木 優香	宮城県仙台第二高等学校	大成 彩未	仙台市立仙台青陵中等教育学校
高橋 明莉	宮城県仙台二華高等学校	高橋 玲奈	福島県立安積黎明高等学校
渡邊 日菜花	宮城県仙台二華高等学校	橋本 彩乃	福島県立安積黎明高等学校
後藤 桜智	山形県立山形西高等学校	服部 亜由莉	福島県立安達高等学校
峯田 あかね	山形県立山形西高等学校	渡邊 悠菜	福島県立安達高等学校

（敬称略）

【山形大学公式YouTubeチャンネル】

第16回山形大学高校生朗読コンクール

URL : <https://youtu.be/gan541PqDPE>



本件お問合せ

山形大学高校生朗読コンクール事務局（担当：土屋）

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12

TEL : 023-628-4846 メール yu-k-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和5年（2023年）11月2日

オペラ歌手 脇園 彩 氏による学生の公開レッスンをを行います

【本件のポイント】

- 国際的なオペラ歌手として活躍する脇園 彩氏による公開レッスン
- 2017年度から実施している地域創生事業であり、今回で10回目
- 世界で活躍するプロの音楽家の指導を間近で感じることのできる絶好の機会

【概要】

山形大学地域教育文化学部では、2017年度より山形交響楽団との連携による地域創生事業として、公開講座を開催してきました。

2023年度は常任指揮者である阪哲郎氏によるオペラの公開レッスン（1月）、楽団員である犬伏亜里（Vn）堀越瑞生（Vn）成田寛（Vla）渡邊研多郎（Vc）の四氏による弦楽四重奏演奏会（2月）を開催いたします。

また12月には、イタリアを中心に活躍し、現在最も注目される若手アーティストである、メゾ・ソプラノ歌手の脇園彩氏をお招きして、声楽の公開レッスンを行います。ヨーロッパの歌劇場で活躍し、オペラに深く精通する、同氏のレクチャーをはさみながらの公開レッスンとなります。

学生たちにとっては、国際的に活躍するプロの音楽家から直接指導を受けられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するために、レッスンを公開いたします。



講師：脇園 彩



講師情報は上記QRコードよりご覧いただけます

【開催情報】

日時 令和5年12月15日（金） 11:00開演
会場 山形大学 文化ホール（小白川キャンパス）
入場料 無料
※後日オンデマンド配信の予定

講師 脇園 彩 氏
内容 学生に対する、オペラアリアなどの演奏・発声指導

<参考> 過去の公開レッスン開催日／講師

令和元年 7月21日／オペラ指揮者 阪 哲朗 氏
令和元年11月19日／チェリスト・指揮者 鈴木 秀美 氏
令和3年11月15日／ピアニスト 舘野 泉 氏
令和5年 3月 9日／弦楽四重奏の夕べ（山形交響楽団）

お問い合わせ

学術研究院（地域教育文化学部主担当） 深瀬 廉

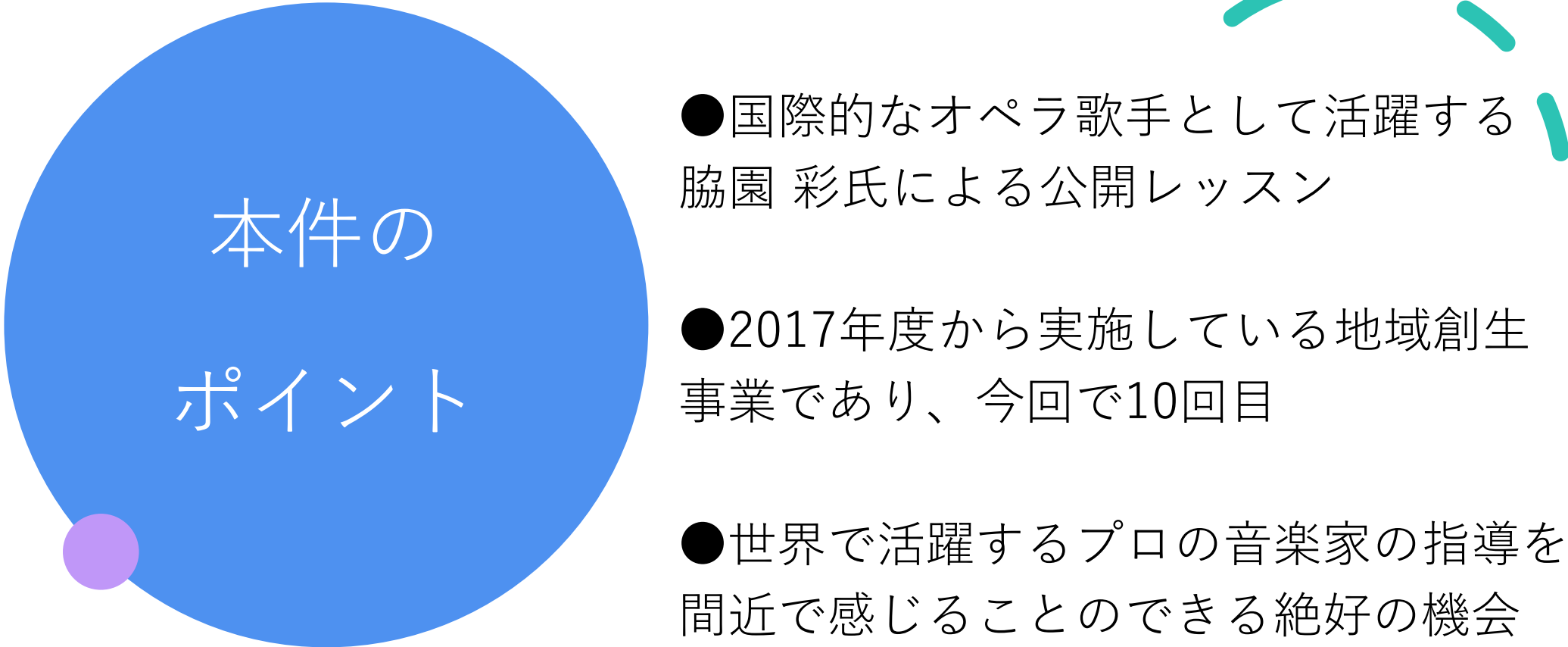
TEL 023-628-4330 メール fukaseren@e.yamagata-u.ac.jp



オペラ歌手

脇園 彩 氏による

学生の公開レッスン



本件の ポイント

- 国際的なオペラ歌手として活躍する
脇園 彩氏による公開レッスン
- 2017年度から実施している地域創生
事業であり、今回で10回目
- 世界で活躍するプロの音楽家の指導を
間近で感じることのできる絶好の機会

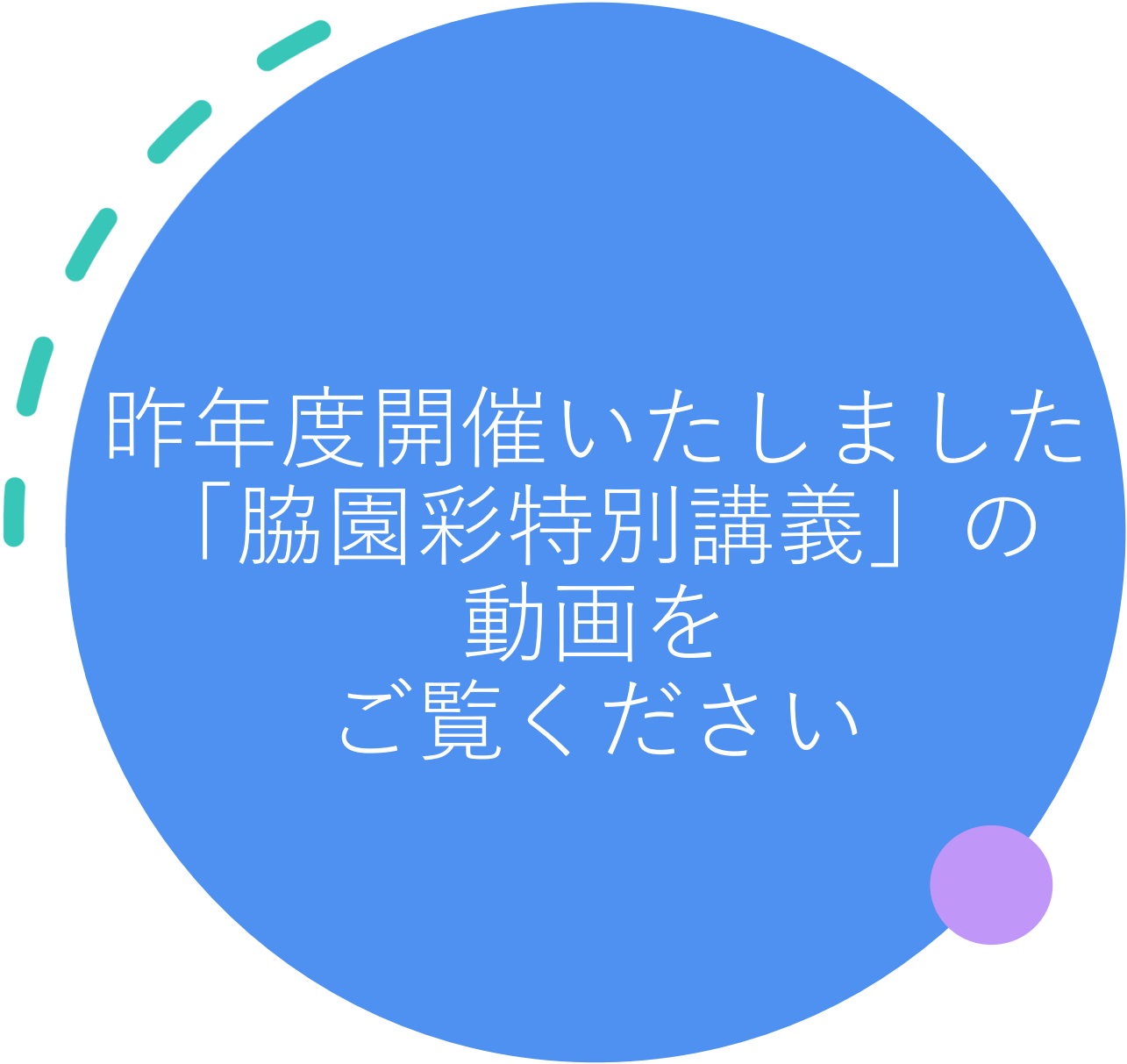
概要

山形大学地域教育文化学部では、2017年度より山形交響楽団との連携による地域創生事業として、公開講座を開催してきました。2023年度は常任指揮者である阪哲郎氏によるオペラの公開レッスン（1月）、楽団員である犬伏亜里（Vn）堀越瑞生（Vn）成田寛（Vla）渡邊研多郎（Vc）の四氏による弦楽四重奏演奏会（2月）を開催いたします。

また12月には、イタリアを中心に活躍し、現在最も注目される若手アーティストである、メゾ・ソプラノ歌手の脇園彩氏をお招きして、声楽の公開レッスンを行います。ヨーロッパの歌劇場で活躍し、オペラに深く精通する、同氏のレクチャーをはさみながらの公開レッスンとなります。

学生たちにとっては、国際的に活躍するプロの音楽家から直接指導を受けられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するために、レッスンを公開いたします。





昨年度開催いたしました
「協園彩特別講義」の
動画を
ご覧ください



ご清聴
ありがとうございました

令和5年（2023年）11月2日

山形の「記憶」を一堂に公開する「山形アーカイブ」を更新！ ～「まちの記憶を残し隊」や自治体・企業などのデータ約1400点を追加～

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館が令和4年（2022年）に立ち上げたプロジェクト「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」の成果として、令和5年（2023年）4月に山形の「記憶」を一堂に公開するデジタルアーカイブ「山形アーカイブ」を公開しました。今回「山形アーカイブ」にデータ約1400点を追加しました。
- 山形県内の資料保存機関が所蔵する資料に加え、山形大学の学生サークル「まちの記憶を残し隊」が収集したデータ、さらには自治体・企業から提供いただいたデータを横断的に閲覧できるデジタルアーカイブとしては、全国初の試みとなります。
- 今後も、「山形アーカイブ」をさらに充実させ、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護・防災など、さまざまな地域の課題の解決に役立てていただくことができるものへと成長させてゆきます。



昭和21年（1946年）の新制山形市街図
（山形大学附属博物館所蔵）

【概要】

山形大学附属博物館は、令和4年（2022年）、山形大学基金の「やまがた未来へつなぐプロジェクト」として、山形市中心市街地の江戸時代から現代までの変化を、現在の街並みの写真やオーラル・ヒストリー（人々の証言）、博物館が収集してきた資料などをデジタル化してインターネット上で共有し、山形大学の学生が地域に愛着を持つきっかけとなることや、まちづくりに取り組む方々に役立てていただくことなどを目的として、「地域の記憶「共創」アーカイブ～まちと人の未来のために～」を立ち上げ、その成果として令和5年（2023年）4月に山形市内の資料保存機関が所蔵する山形地域の資料を一堂に閲覧できるデジタルアーカイブ「山形アーカイブ」を作成・公開しました。今回はおよそ半年間に公開の準備を完了したデータ約1400点を追加しました。

今回「山形アーカイブ」に新たに追加されたのは、山形大学の学生サークル「まちの記憶を残し隊」が毎月撮影を行ってきた七日町大通りの写真1250点と山形市内を流れる「山形五堰」の写真140点のほか、山形大学附属博物館が所蔵・収集した地図16点・絵画5点・その他2点、山形市農村整備課から提供いただいた江戸時代の「山形五堰」の地図1点、日本官帽制帽株式会社から提供いただいた、かつて七日町に存在していた帽子店「ボーン奥山」にかかわる写真11点です。

今後も、「まちの記憶を残し隊」の収集した街並みの写真や人々のインタビュー、自治体・企業・個人から提供いただいたデータを順次加えていく予定です。また、「山形アーカイブ」に登載した地図アプリも地図を充実させるとともに、地図上で過去の風景・建物などを確認できるようなものへとアップデートしていきます。「山形アーカイブ」のさらなる充実と関係機関との連携の強化、活用策の開発を進めることで、歴史教育・生涯学習・まちづくり・観光・文化財保護・防災など、さまざまな地域の課題に対応可能なデジタルアーカイブの構築を目指します。

【山形アーカイブ】

- URL : <https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>
- 地図アプリ : <https://cherry.yum-archives.net/maplat/>

お問い合わせ

学術研究院准教授（人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員） 小幡圭祐
メール：obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた たてもの 文化祭



2023 年 11 月 4 日(土)・5 日(日)

10:00-17:00

参加施設での写真撮影・SNS 等への掲載 **OK!**

#やまがたたてもの文化祭

※公開施設および公開スケジュールは変更となる可能性がありますのでご了承ください

※立入禁止区域への進入はおやめください

○参加施設&公開スケジュール

	11 月 4 日（1 日目）								11 月 5 日(2 日目)							
	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600		
①のし梅本舗佐藤屋			11:00-15:00						11:00-15:00							
②六日町教会												13:30-17:00				
③カトリック教会					13:00-17:00							13:00-17:00				
④聖ペテロ教会						14:00-17:00							14:00-17:00			
⑤文翔館	09:00-16:30							09:00-16:30								
⑥旧済生館本館	09:00-16:30							09:00-16:30								
⑦旧山形師範学校	09:00-16:00							09:00-16:00								
⑨白鳥山明善寺						13:30-16:30							13:30-16:30			
⑩旧山寺ホテル	10:00-15:30							10:00-15:30								

○中心市街地参加施設マップ



〈同時期に開催のイベント及び展示〉

◇やまがたレトロ館ペン画展示 (通年・旧山寺ホテル)

◇のし梅本舗佐藤屋蔵座敷にて「古写真の展示」

◇旧済生館本館 (山形市郷土館) ナイトミュージアム
11 月 3 日 16:00-19:30 (最終入場 19 時)

◇写真展『建築の山形
～近代山形をいろうった建物たち～』
会場：山形県郷土館「文翔館」 ギャラリー 2
期日：11 月 3 日～5 日 09:00-16:30

○山形市中心部

① のし梅本舗佐藤屋



昭和 9 年
秦・伊藤建築設計

山形市十日町 3 丁目 10-36

② 山形六日町教会



大正 3 年
ゴシック様式

山形市旅籠町 3 丁目 3-34

③ 山形カトリック教会



大正 15 年
塩浜資三

山形市香澄町 2 丁目 11-15

④ 山形聖ペテロ教会



明治 43 年
J.M.ガーディナー

山形市木の実町 9-22

⑤ 旧山形県庁舎及び県議会議事堂（山形県郷土館「文翔館」）



大正 5 年
英国近世復興様式
田原新之助・中條精一郎
山形市旅籠町 3 丁目 4-51

⑥ 旧済生館本館（山形市郷土館）



明治 11 年
擬洋風建築
筒井明俊
山形市霞城町 1-1

⑦ 旧山形師範学校本館（山形県立博物館分館 教育資料館）



明治 34 年
ルネサンス様式
※要入館料
山形市緑町 2 丁目 2-8

⑧ 千歳館



大正 4 年
和洋折衷様式
※外観のみ
山形市七日町 4 丁目 9-2

⑨ 白鳥山明善寺



昭和 9 年
伊東忠太

山形市七日町 5 丁目 9-3

白鳥山明善寺では 4 日・5 日ともご住職による
10 分程度の解説が 14 時から、および 15 時から
各 2 回ずつ予定されています。

詳しいお寺の紹介ムービーはこちらから⇒



○山寺地区

⑩ 旧山寺ホテル（やまがたレトロ館）



明治棟：明治後期
大正棟：大正 5 年 本館増築
昭和棟：昭和 11 年 客室増築
山形市大字山寺 4278（山寺駅すぐ）

その他、市内の歴史的建造物は

『やまがたレトロ館絵地図』（やまがたレトロ館にて販売中）
『城下町やまがた探検地図』に掲載されています

アンケートにご協力をお願いします！
こちらからご記入いただけます⇒



※会場によっては駐車場が併設されておりませんのでご注意ください

きかは便郵



やまがたたてもの文化祭 連携企画

写真展 建築の山形

～近代山形をいどった建物たち～

文明開化から終戦までの 77 年間、山形市中心街をいどった建物
や現存する建物を古写真や絵葉書を交えながら展示・紹介します。

令和 5 年 11 月 3 日（金・祝）－11 月 5 日（日）

午前 9 時～午後 4 時 30 分

山形県郷土館「文翔館」3 階 ギャラリー 2 入場無料



山形ホテル 本館



旧山形県庁舎（現：文翔館）

文翔館文化活動支援事業

お問い合わせ 主催者・相内一翼（電話 070-2036-4168）

UNION POSTALE UNIVERSELLE.
CARTE POSTALE

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）11月2日

「まちの記憶を残し隊」が「山形五堰パンフレット」を作成！ ～「山形五堰」のゆるキャラ・まちあるきマップも登場！～

【本件のポイント】

- 令和5年（2023年）3月1日に山形大学の学生有志が、未来に残すべきかけがえのない地域の「記憶」を残すべく、サークル（登録団体）として「山形大学まちの記憶を残し隊」を結成しました。このたび、「まちの記憶を残し隊」が「山形五堰」を紹介するパンフレットを作成しました。
- パンフレットには、山形市農村整備課から提供いただいた江戸時代の「山形五堰」の地図や、山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）のイベントで小学生と山形大学の学生が協力して作成したゆるキャラ、「つなぐちから。」社会共創活動推進プロジェクトにより作成された「山形五堰」まちあるきマップが盛り込まれています。
- 「山形五堰」は来年（2024年）で誕生から400年という節目を迎え、また山形市が国際かんがい排水委員会（ICID）日本国内委員会に世界かんがい施設遺産の登録申請中であることから、今後「山形五堰」関連の催しなどで活用されることが期待されます。



『山形五堰パンフレット』

【概要】

令和5年（2023年）3月1日に山形大学の学生有志が、未来に残すべきかけがえのない地域の「記憶」を残すべく、サークル（登録団体）として「山形大学まちの記憶を残し隊」を結成し、さまざまな活動を行っているところです。このたび、「まちの記憶を残し隊」が「山形五堰」を紹介するパンフレットを作成しました。

「山形五堰パンフレット」は、「まちの記憶を残し隊」の学生が「山形五堰」の歴史や見どころ、山形大学周辺を流れる笹堰の清掃活動・調査活動について執筆したものです。パンフレットには、「まちの記憶を残し隊」が撮影した「山形五堰」の写真のほか、山形市農村整備課から提供いただいた江戸時代の「山形五堰」の地図を使用しています。また、山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）が8月19日に実施したイベント「「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！」にて小学生の沼澤佳歩さんと山形大学地域教育文化学部1年・芳賀日和さんが作成したゆるキャラが随所に登場しています。さらに、山形大学「つなぐちから。」社会共創活動推進プロジェクト「「山形五堰」まちあるきマップの作成」の成果である、過去と現在の地図を比較しながら「山形五堰」のスポットを巡ることができる「山形五堰」まちあるきマップを掲載しています。

「山形五堰パンフレット」や「山形五堰」ゆるキャラは、「山形五堰」は来年（2024年）で誕生から400年という節目を迎え、また山形市が国際かんがい排水委員会（ICID）日本国内委員会に世界かんがい施設遺産の登録申請中であることから、今後も関連するイベントで活用されることを想定しています。

- 「山形五堰」まちあるきマップ：<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-goseki/>



※用語解説

1. 山形五堰（やまがたごせき）：山形市内を流れる笹堰（ささぜき）・御殿堰（ごてんぜき）・八ヶ郷堰（はっかごうぜき）・宮町堰（みやまちぜき）・双月堰（そうつきぜき）の五つの堰（農業用水路）の総称で、江戸時代の1624年（寛永元）に、山形藩主・鳥居忠政（とりいただまさ）が整備したとされています。

お問い合わせ

学生サークル「山形大学まちの記憶を残し隊」

メール：machinokiokuwonokoshitai@gmail.com

【「山形五堰」ゆるキャラの紹介】



笹堰（ささぬま）のゆるキャラ：梅笹（うめささ）おじさん

【モチーフ】

梅花藻

【特徴】

きれいな水でしか生育しない、珍しい水中花である梅花藻のおじさん。ただのおじさん。なんと笹堰にいっぱいいる。



八ヶ郷堰（はっかごうぜき）のゆるキャラ：八之介（はちのすけ）

【モチーフ】

八ヶ郷堰の「8」

【特徴】

船町・中野・陣場・人馬新田・吉野町・江俣・鮎洗・内表の8つ村が使用した八ヶ郷堰の「八」から、からだは8の形をしている。

八之助の大好物は雪。冬は、雪をたくさん食べるのでからだが大きくなる。



双月堰（そうつきぜき）のゆるキャラ：障子（しょうじ）の障（しょう）ちゃん

【モチーフ】

障子紙・大豆・双月堰の「月」

【特徴】

からだは、双月堰が設けられた双月村で作られた障子紙でできている。からだの左側には月が見える。

双月村がある鈴川地区では、みその生産が盛んであったため、目と手足は大豆になっている。

水に濡れて破れてしまった障子紙は、みそを食べることによって復活する。



御殿堰（ごてんぜき）のゆるキャラ：うなな姉妹（しまい）

【モチーフ】

ウナギ・七日町の「七」・霞城公園の桜

【特徴】

御殿堰の水で養殖されたウナギの姉妹。長い方がお姉さん。

七日町の「七」の形をしており、霞城公園の桜の色と同じピンク色をしている。からだの色のよう、性格も穏やかでケンカはしない。



宮町堰（みやまちぜき）のゆるキャラ：宮町（みやまち）めんこい

【モチーフ】

コイ・蕎麦・ラーメン・水車

【特徴】

宮町堰の水で養殖されたコイ。宮町堰では、水車を利用した製粉業が盛んだったことから、背びれは水車、ヒゲはそば、尾ひれはラーメンになっている。蕎麦とラーメンをよく食べる。

めんとコイから、「めんこい」となった。

令和5年（2023年）11月2日

第51回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

～禁忌と言われた問題、その先にあるものとは～

【本件のポイント】

- 今年51代目を迎える模擬裁判のテーマは「男性性犯罪被害」です。これまで扱いづらいと考えられており、さらに我々人間が、目を背けてはならない「性」という問題にスポットを当てました。
- 今回は今年7月に施行された「不同意性交等罪 不同意わいせつ罪」を扱います。今、法律や社会が変わりつつある中で、法と性の関わりを知り、考えていただくことのできる脚本となっております。
- 1年生から3年生までの学生、約100名が所属し、1年がかりで創り上げる迫力の公演とその取り組みにご注目ください。



【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会では、年に一度「模擬裁判」という裁判劇の公演を発表し、研究成果を東北各地の方々に還元しています。今年 51 回のテーマは「男性性犯罪被害」です。

2017 年に刑法が改正され、今年も性犯罪についての法律に大きな動きがありました。さらにマスメディアでも、芸能事務所での性被害が取り上げられるなど、性犯罪に大きな注目が高まっています。そこで、この公演を通じて、性犯罪・性被害の実状はもちろんのこと、性別による先入観や偏見、セカンドレイプなど、現代社会が抱える性問題も取り上げることで認知度及び問題意識の向上に繋がることを願っております。

【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会は、山形大学の1年生から3年生を中心に構成される学生の自主ゼミです。年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演で研究成果を発表しています。裁判劇を観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることを目的としています。

【あらすじ】

大学生の主人公は、友人たちと雑談を楽しんでいるときに笑い話として高校の時に受けた性的な被害について話す。彼にとってその記憶は単に高校の記憶の一つでしかなかったが、友人らはそうは感じていない様子。当初は軽く捉えていた主人公だったが、彼女とともに過去に向き合っていくにつれ考えが改まっていき、被害を訴える決心をする…

【公演内容】

第 51 回模擬裁判公演『とつとつ～性被害の告白～』

日時：2023 年 12 月 1 日(金) 18:00 開演、12 月 2 日(土) 14:00 開演

場所：山形テルサ テルサホール

料金：前売り券 300 円／当日券 400 円（高校生以下は無料）

チケット販売：山形大学生協／八文字屋プレイガイド

※キャスト練習や本番に向けた活動を可能な限り公開させていただきます。

ご関心のある報道機関の皆様は当団体委員長 丸田までご連絡ください。



〔山形大学模擬裁判実行委員会 公式 SNS〕

公式 YouTube



公式 Instagram



@MOGISAI51

お問い合わせ

代表者：丸田蒼

Mail : mogisai51.marusou@gmail.com

令和5年(2023年)11月2日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 東日本重粒子センターが火星探査機搭載機器開発に貢献～株式会社ファムサイエンスと共同研究開始、宇宙航空研究開発機構(JAXA)も参加～

2024年度に火星に向けて打ち上げ予定の探査機MMXには、IREM（惑星空間放射線環境モニタ）が搭載され、宇宙環境での高エネルギー粒子の計測が行われます。

打ち上げを前に、実機に対して実際に高エネルギー粒子を打ち込み、打ち込んだ粒子と得られる信号の関係を確立することが必要です。

本共同研究において、東日本重粒子センターで加速した炭素イオンを利用し、上記試験を実施します。

2. 東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催～重粒子線がん治療の可能性～

本センターでは、2022年10月の本格稼働から1年が経過いたしました。この間600名を超える治療を行い、2021年2月の前立腺がんの治療開始からは、1,200名に達しております。

センター長の岩井岳夫と副センター長の元井冬彦と佐藤啓が講師を務め、重粒子線がん治療やその治療実績について解説するとともに、本センターについてご紹介いたします。

日時：令和5年12月14日（木）18:00～19:00 終了予定

会場：オンライン（Zoom 配信）※定員は300人

参加費：無料

対象：一般

3. 山形大学学生チャレンジプロジェクト みちくさ縁日 2023～最上地域の子どもたちと「楽しい！」をつくりたい～

山形大学学生チャレンジプログラムの一環として、山形大学の地域貢献サークル「Team 道草」は、就学前の子どもから小学校3年生を主な対象に、新庄市で「みちくさ縁日」を開催します。日常では交流する機会が少ない最上地域の子どもたちと大学生が交流する場を創出することにより、両者ともに価値のある刺激が生まれ、コミュニケーション能力の向上や好奇心の育成につながることを期待します。

日時：11月4日（土）10:30～14:00

場所：新庄駅西口すぐの空き地（僕らのPokePa）（新庄市沖の町4-33）

4. 「1日山形大学 in 仙台」を開催します

2023年度入学生の26.3%を占め（山形は22%）、これまで多数の卒業生を輩出している宮城県において、本学の卒業生・修了生、在学生の父母等をはじめ、山形大学に関心のある方すべてを対象とした「1日山形大学」を初めて開催します。“山形大学の今－教育・研究・社会共創・学生活動等－”を知っていただく機会にしたいと思います。

日時：11月26日（日）10:30-14:30（第1部10:30-12:30、第2部13:00-14:30）

会場：AER 21階・30階（仙台駅前徒歩2分）

対象者：本学の卒業・修了生、在学生の家族、山形大学に関心のある方

5. 第6回学びのフォーラムを開催します

山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。

●日時及び会場

第1回 12月3日（日） 小白川キャンパス 基盤教育3号館

第2回 12月9日（土） 小白川キャンパス 基盤教育3号館

第3回 12月17日（日） 小白川キャンパス 基盤教育2号館

※3回すべてでZoomを使ったオンラインでも参加可能です。

●参加費 無 料

●申し込み受付期限 11月30日（木）

●内容 第1回 「できる」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第2回 「考える」とはどういうことか コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

第3回 「遊ぶ」ということの意味 コーディネーター 山形大学准教授 森田智幸

話題提供 東京大学名誉教授 佐伯胖 氏

6. 「後醍醐天皇と足利尊氏～ライバルたちのレクイエム～」～南北朝の動乱を生きた6名の古文書を展示中～

山形大学中央図書館所蔵の重要文化財「中条家文書」から貴重な古文書6点を山形大学附属博物館で展示中です。

建武の新政を打ち立てた後醍醐天皇や、南北朝に活躍した武士などをその古文書とともに紹介しています。

また、11月11日(土)に本展を監修した大喜直彦教授による「展示解説会&歴史の集い」を行います。

7. 小白川キャンパスで「炊き出し訓練」開催一留学生や近隣の皆様と一緒に活動しながら地域防災について考えますー

山形大学国際化推進事業支援プログラムの活動助成を受け、小白川キャンパスを会場に炊き出し訓練を開催します。英語、中国語、韓国語のレシピを用意し、調理を一緒にしながら交流します。さらに留学生向けに防災リーフレットを作成し配布します。

日 時：11月29日（水）13：00～17：00

場 所：本学小白川キャンパス地域教育文化学部1号館前

本企画への参加者想定：受講学生、本学留学生、地域住民、大学教職員など

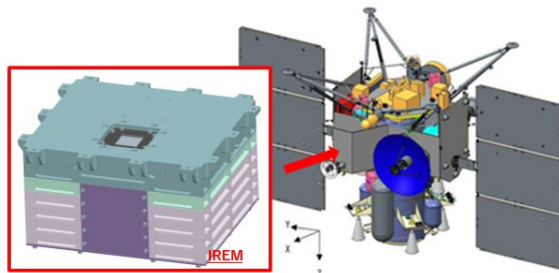
PRESS RELEASE

令和5年（2023年）11月2日

東日本重粒子センターが火星衛星探査機搭載機器開発に貢献 ～株式会社ファムサイエンスと共同研究開始、宇宙航空研究開発機構(JAXA)も参加～

【本件のポイント】

- 2024年度に火星衛星に向けて打ち上げ予定の探査機 MMXには、IREM（惑星空間放射線環境モニタ）が搭載され、宇宙環境での高エネルギー粒子の計測が行われる。
 - 打ち上げを前に、実機に対して実際に高エネルギー粒子を打ち込み、打ち込んだ粒子と得られる信号の関係を確立することが必要である。
 - 本共同研究において、東日本重粒子センターで加速した炭素イオンを利用し、上記試験を実施する。
- 画像提供：宇宙航空研究開発機構



【概要】

宇宙航空研究開発機構(JAXA)では、国際宇宙探査ミッションとして火星衛星探査機 MMX を 2024 年度に打ち上げる予定としており、その中で火星衛星フォボスからのサンプルリターンなど様々な科学計測が実施される。その中には、惑星空間放射線環境モニタ IREM も含まれており、火星周辺環境での放射線環境、特に高エネルギー粒子の計測が行われる。これは、人が有人飛行で火星圏に行った場合、どのような放射線環境にさらされるかについての基礎的な知見を得ることを目的としている。

機器開発を完了するためには、実機に対して実際に高エネルギー粒子を打ち込み、打ち込んだ粒子と得られる信号の関係を確立することが必要である。必要とされる高エネルギー粒子を加速できる装置は国内で数少ないが、粒子エネルギーを細かく設定することが可能な東日本重粒子センターを利用したいという希望があり、共同研究という形で照射試験を実施することになった。照射試験は 11 月～12 月頃を予定している。

【背景】

宇宙航空研究開発機構(JAXA)で準備が進められている MMX (Martian Moons eXploration) は、世界初の火星衛星サンプルリターンミッションで、2024 年度の打上げを目指しています。このミッションでは、将来の有人火星探査に向けた各種調査も並行して実施され、宇宙放射線環境測定もその一つに位置付けられています。宇宙空間では、地上の自然界には存在しない高エネルギー粒子が飛び交っていることが知られており、有人探査の際に健康障害を引き起こすことが懸念されています。MMX ミッションでは、惑星空間放射線環境モニタ IREM を搭載して、火星近傍での超高エネルギー粒子環境に関する知見を得ることになっています。

【試験内容】

IREM のような粒子線検出器を開発するためには、実際に超高エネルギーの粒子を検出器に打ち込んで、入射粒子と得られる信号との相関関係を確立する較正試験を実施する必要があります。較正試験を実施するには、超高エネルギーの粒子を、できるだけ揃った速度で、かついろいろな速度で出射できる加速器が必要になります。医学部東日本重粒子センターのシンクロトロンは、出射速度について圧倒的に多施設よりも多い 600 段階に設定可能で、このような較正試験を実施するのに適しています。この利点を活かして、加速した炭素イオンで較正試験を実施し、機器開発に貢献します。

試験については、JAXA の契約を受けた株式会社ファムサイエンスと共同研究契約を締結し、試験には JAXA の研究者及び IREM 製造元である明星電気のエンジニアも数名参加します。試験は 11 月～12 月に数回、固定照射室で実施を予定しています。

お問い合わせ

学術研究院教授 岩井岳夫（医学系研究科）

TEL 023-628-5401 メール iwai@med.id.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

なお、本試験は治療の行っていない時間帯に実施するため、当センターで実施している重粒子線治療には影響はありません。

【今後の展望】

本共同研究で開発された機器は、MMX に搭載されて 2024 年度に打ち上げられた後、各種計測を進め、最終的には 2029 年に火星衛星から採取したサンプルと共に MMX が地球に帰還する頃まで計測する予定になっています。IREM によって得られた高エネルギー粒子の情報を分析し、有人探査の計画を立てる際の貴重な情報になります。また、重粒子センターでの試験時には、患者さんを模擬した標的に重粒子線を照射した時に発生する高エネルギー粒子の計測も実施し、重粒子線治療時の患者さんの二次粒子による放射線被ばくの基礎データ取得も試みることとしています。

※用語解説

1. 二次粒子：重粒子線を照射したときに核反応により発生する陽子や中性子などの高エネルギー粒子

PRESS RELEASE



令和5年（2023年）11月2日

東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催 ～重粒子線がん治療の可能性～

【本件のポイント】

- 本センターでは、2022年10月の本格稼働から1年が経過いたしました。この間600名を超える治療を行い、2021年2月の前立腺がんの治療開始からは、1,200名に達しております。
- センター長の岩井岳夫と副センター長の元井冬彦と佐藤啓が講師を務め、重粒子線がん治療やその治療実績について解説するとともに、本センターについてご紹介いたします。



【概要】

山形大学医学部東日本重粒子センターにおける前立腺がんの重粒子線治療が、2021年2月25日から始まり、2022年10月3日からは当初予定していたすべての疾患の治療受け入れを開始いたしました。この間1,200名を超える患者さんが治療を終えられました。

本センターでは、重粒子線治療が患者さんにとってがん治療の選択肢の一つとなり、治療の選択の幅が広がればと一般の方向けにオンラインセミナー（Zoom ライブ配信）を企画しました。参加費は無料です。重粒子線治療とは何かを知っていただく機会となれば幸いです。

【開催概要】

日時：令和5年12月14日（木）18:00～19:00 終了予定

会場：オンライン（Zoom 配信）※定員は300人

参加費：無料

対象：一般

プログラム

<第1部>

【重粒子線がん治療について】18:00～18:20（20分）

講師／佐藤 啓（山形大学医学部附属病院放射線治療科長・東日本重粒子センター副センター長）

<第2部>

【膵臓がんへの重粒子線治療の適応・実績と奏効例に対するコンバージョン手術】18:20～18:40（20分）

講師／元井 冬彦（山形大学医学部外科学第一講座教授・東日本重粒子センター副センター長）

<第3部>

【山形大学医学部東日本重粒子センターのご紹介】18:40～19:00（20分）

講師／岩井 岳夫（山形大学医学部重粒子線医学講座教授・東日本重粒子センター長）

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。

URL：https://forms.gle/jd8LYksmqCvFdRv8

申込受付の締切：12月13日（水）まで

申込者には、本セミナー参加に必要な情報を、開催日の前日までにメールでお伝えします。

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務局

TEL：023-628-5404

e-mail：yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL：https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/

令和5年（2023年）11月2日

みちくさ縁日2023 ～最上地域の子どもたちと「楽しい！」をつくりたい～

【本件のポイント】

- 日常では交流する機会が少ない最上地域の子どもたちと大学生が交流する場を創出することにより、両者ともに価値のある刺激が生まれ、コミュニケーション能力の向上や好奇心の育成につながる。
- いつもお世話になっている最上地域への恩返しの一つの形として、大学生特有の力で地域を盛り上げたいという想いを胸に、0から縁日を企画しました。
- 大学生が地域でイベントを主催することで、地域住民だけでなく大学生自身においても地域愛の向上が期待できます。



【概要】

就学前の子どもから小学校3年生を主な対象に、新庄市で「みちくさ縁日」を開催します。子どもたちと関わることが好きな大学生が、子どもたちと楽しい時間をつくるために手作りブースを準備してお待ちしています！

常設ブースでは、わなげ、水ヨーヨー、型抜き、ストラックアウトの4つに加え、スタンプラリーを実施します。さらに、特設ブースでは“未来創造戦士 ユメリオン”と音楽ユニット“でこぽん2”の“がっくん”によるステージショーを行います！お二人とも最上地方で大人気の方で、Team 道草の活動の中で度々交流があり今回ご出演に至りました。ユメリオンとのフォトタイムや、がっくんの子ども向けソングメドレーもする予定ですので、ぜひ親子で楽しんで頂ければと思います。

会場内には縁日の感想や新庄の好きなところ、Team 道草への想い等を届けるメッセージブースも設置するので、ぜひみなさんの熱い想いを私達に届けてください！

たくさんの方のご来場をお待ちしております。みんなで楽しい思い出を作り、町をにぎやかにしましょう！

この企画は、「山形大学学生チャレンジプロジェクト」の1つとして開催いたします。

【開催日時】 令和5年11月4日（土） 10時30分から14時まで

【開催場所】 僕らのPokePa （新庄駅から徒歩4分）

【参加費】 無料

【背景】

Team 道草は、学生の「やってみたい！」×地域の「やってほしい！」の実現をモットーに最上地方で活動しています。今年で設立10周年を迎え、数えきれないほど最上地方に足を運び、地域の方々に何度もお世話になってきました。多くのメンバーたちが、普段の大学生活では得られない経験や充実感、地域への愛着を最上で感じる事ができています。

「最上地域に恩返しをしたい」という想いに溢れている私たちは、地域を盛り上げてさらに活気づけることを目指し、新庄市で子ども向けに縁日を開催する計画を立てました。

【ねらい】

縁日を開催することにより、大学がない最上地域に住む子どもたちと大学生で普段はあまりない交流の機会を作ることができます。

子どもたちは、年の近い大人である大学生と接することで貴重な経験を得ることができます。また、休日に家族や友人と外へ出かけるきっかけが増え、楽しい思い出を増やすこともできます。

一方、大学生も普段子どもと関わるのが少なく、子どもたちから学ぶことも多いため、メリットは大きいと思います。

縁日の対象は子どもたちですが、私たちのねらいは子どもたちと楽しい時間を過ごすだけではありません。

大学生が新庄市を舞台にイベントを自主企画することで、地域住民の皆様に地域への誇りと地域愛を再確認していただきたいという想いも込めて縁日を開催します。

最上地方はもともと地域の結束力が強い地域ですが、若者の人口流出は深刻です。しかし、若者が流出していく一方で、様々な出身地から集まった学生が10年間も関係を繋ぎ、この関係を絶やしたくないと思うほどに、最上地域は魅力あふれる人々と恵まれた自然環境を兼ね備えた素敵な故郷であることを伝えたいと思っています。

日本各地から来た大学生が最上地域を振興しようとしている熱い思いを地域の方々に感じていただくことで、自分が住む地域を見つめ直し、興味を深めるきっかけになればと思います。

さらに、サークルメンバーもチームで1つの地域イベントを作り上げることを通して、コミュニケーション能力を培い、チームで成し遂げる力を身につけ、各々のスキルアップにつなげられると考えます。メンバー自身の最上への地域愛の増大も見込めます。

【山形大学学生チャレンジプロジェクトとは】

学生が主体的に活動し、大学や地域との関わりを深める魅力的な企画を募集し、採択された企画に、予算の範囲内で大学が支援を行うプロジェクトです。

お問い合わせ

山形大学エンロールメント・マネジメント部学生支援課 齋藤

[TEL:023-628-4840](tel:023-628-4840)

MAIL:yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学公認サークル Team 道草

MAIL:team.michikusa@gmail.com

入場&
全ブース
無料

スタンプラリーに参加して景品をゲットしよう！

みちくさ えんにち

11月 4日 土

10:30~14:00

場所：ポスター下に記載



- ・わなげ
- ・水ヨーヨー
- ・かたぬき
- ・ストラックアウト

出演

- 11:00 未来創造戦士
~11:30 ユメリオン
- 12:00 でこぽん2
~12:30 (がっくん)



Team道草とは？

新庄・金山を中心に活動している山形大学の地域貢献サークルです！
普段は学習支援や地域のイベントのお手伝いなどを行っています！
ぜひ大学生と一緒に縁日で遊びつくしませんか？



主催：Team道草

お問い合わせ

Gmail:team.michikusa@gmail.com

会場：

新庄駅西口すぐの空き地(僕らのPokePa)

住所：

〒996-0023 山形県新庄市沖の町4-33



PRESS RELEASE

令和5年（2023年）11月2日

「1日山形大学 in 仙台」を開催します

【本件のポイント】

- 2023年度入学生の26.3%を占め（山形は22%）、これまで多数の卒業生を輩出している宮城県において、本学の卒業生・修了生、在学生の父母等をはじめ、山形大学に関心のある方すべてを対象とした「一日山形大学」を初めて開催します。
「山形大学の今－教育・研究・社会共創・学生活動等－」を知っていただく機会にしたいと思います。



【概要】

1. 日時
令和5年11月26日（日）10:30-14:30（第1部 10:30-12:30、第2部 13:00-14:30）
2. 会場
AER 21階・30階（仙台駅前徒歩2分）
3. 対象者
本学の卒業・修了生、在学生の家族、山形大学に関心のある方
4. 内容
<第1部：120分>10:30-12:30（定員最大250名）※先着順で申込み
① 学長あいさつ
② 特別講演（坂井正人教授「ナスカ地上絵研究－人工衛星から人工知能へ－」）
③ 各学部の活動報告
④ 花笠サークル四面楚歌の演舞

<移動・休憩>12:30-13:00 なんでも相談コーナー、附属農場生産品、山大グッズコーナー

<第2部：90分>13:00-14:30 立食形式（会費制、アルコールなし）（会場定員最大80名）
① 開会のあいさつ
② 懇親会
③ 各学部同窓会・後援会活動報告
④ 閉会のあいさつ

お問い合わせ

山形大学エンロールメント・マネジメント部学生支援課（齋藤）

TEL 023-628-4840 メール yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

1日 山形大学 in 仙台

「山形大学の今－教育・研究・社会共創・学生活動等－」を知っていただき、参加者との交流を深めることを目的として「1日山形大学in仙台」を初めて開催します。

日時
2023.

11.26 日

会場

AER

21階・30階
(仙台駅前徒歩2分)



〒980-6104 宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

対象者

本学の卒業・修了生、在学生のご家族 ※第1部は高校生や一般の方も参加可能です。

申込方法

WEBサイトのお申し込みフォームより
必要事項をご記入のうえお申し込みください
<https://forms.office.com/r/h8pExkXaRX>



申込締切
11.16

※定員になり次第締め切らせていただきます。

スケジュール

定員
250名

ホール21(A+B)

第1部 120分

10:30-12:30

1. 学長あいさつ 山形大学長 玉手 英利

2. 特別講演「ナスカ地上絵研究－人工衛星から人工知能へ－」



山形大学
学術研究院教授
(人文社会科学部担当)

坂井 正人

坂井正人(さかい まさと)
山形大学学術研究院教授(人文社会科学部担当)。「ナスカの地上絵」研究の世界的権威。ペルー政府の許可のもと、世界でただ一つの現地調査を行う研究グループを統括しています。

3. 各学部の活動報告

4. 花笠サークル「四面楚歌」による演舞

ホール21(A+B)

移動・休憩 30分

12:30-13:00

◎なんでも
相談コーナー

◎附属農場生產品
・山形大学グッズ
コーナー

ホール30B

第2部 90分

13:00-14:30

定員
80名

1. 開会のあいさつ

2. 懇親会

※立食形式、アルコールの提供はございません。会費制(2,000円)となります。

3. 各学部同窓会・
後援会活動報告

4. 閉会のあいさつ

お問い合わせ

山形大学エンrollment・マネジメント部学生支援課 / TEL 023-628-4840 / Mail yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学／共催：山形大学校友会／協力：山形大学生生活協同組合

令和5年（2023年）11月2日

第6回学びのフォーラムを開催します

【本件のポイント】

- ・12月3日（日）、9日（土）、12月17日（日）の3日間にわたって、山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。
- ・「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。
- ・2015年度から始めた本企画は、2020年度には文部科学省の調査研究事業にも採択され、今年度で9年目となります。昨年度も14校の高校からの参加者がありました。
- ・今年度も、多くのみなさまの参加をお待ちしています。



【概要】

12月3日（日）、9日（土）、12月17日（日）の3日間にわたって、山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」を開催します。山形大学大学院教育実践研究科「学びのフォーラム」は、高校生、大学生、社会人が、「学ぶとはどういうことか」について共に探究するプログラムです。昨年度に引き続き、オンライン・対面のハイブリッド型による開催です。12月17日（日）（小白川キャンパス会場）には、これまでと同様、本フォーラムのテキスト『「わかり方」の探究』の著者である東京大学名誉教授佐伯胖氏も参加します。佐伯胖氏には、議論の過程に参加すると同時に、学びに関する様々な話題を提供していただきます。

現在、すでに申し込みの受付を開始しています。締め切りは、11月30日（木）です。申し込み用ページは、<https://forms.office.com/r/11KtvXNZV8> です。チラシのQRコードからもアクセスできます。

「学びのフォーラム」のこれまでの歩みについては、山形大学「教職の魅力創造プロジェクト」ホームページ <https://www.e.yamagata-u.ac.jp/forum/> の「学びのフォーラム」のページをご覧ください。

●日時及び会場

- 第1回 12月3日（日） 小白川キャンパス 基盤教育3号館
第2回 12月9日（土） 小白川キャンパス 基盤教育3号館
第3回 12月17日（日） 小白川キャンパス 基盤教育2号館

※3回すべてでZoomを使ったオンラインでも参加可能です。

●参加費

無料

●申し込み受付期限

11月30日（木）

●内容

- | | | | | |
|-----|----------------|----------|---------|------|
| 第1回 | 「できる」とはどういうことか | コーディネーター | 山形大学准教授 | 森田智幸 |
| 第2回 | 「考える」とはどういうことか | コーディネーター | 山形大学准教授 | 森田智幸 |
| 第3回 | 「遊ぶ」ということの意味 | コーディネーター | 山形大学准教授 | 森田智幸 |
| | 話題提供 | 東京大学名誉教授 | 佐伯胖氏 | |

お問い合わせ

山形大学小白川キャンパス事務部総務課（地域教育文化学部担当）

TEL 023-628-4304 メール yu-kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学びのフォーラム

学びから教育を問い続ける

対面・オンライン
ハイブリッド開催

第1回12月3日(日)

13時15分～16時45分
「できる」とはどういうことか

会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)

これまでのあゆみは
こちらからご覧ください。



第2回12月9日(土)

13時15分～16時45分
「考える」とはどういうことか

会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)



第3回12月17日(日)

13時15分～16時45分
「遊ぶ」ということの意味

会場：山形大学小白川キャンパス
基盤教育2号館221

担当教員：森田智幸
(山形大学准教授)

助言・話題提供：佐伯 胖 氏
(東京大学名誉教授)



企画 の 趣旨

山形大学大学院教育実践研究科では、平成27年度から、広く市民とともに地域の学びについて考える場を創出することを目的として、高校生と大学生、社会人による合同ゼミナールを行ってきました。

そもそも学ぶとはどのようなことなのでしょう。あなたならどのように答えますか。このゼミでは、この問いに対する答えを共に探究します。

方法は、共通する文献を読み、議論するというシンプルなものです。それぞれの立場から、一旦立ち止まって、教育、学びという営みを根源から問い直す場となることを目指しています。

高校生のみなさんには、大学での学びを体験し、教師を目指す大学生や現役教師の生の声を聴くことができる場となります。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。

申込 方法

◆参加費は無料です。

◆参加を希望する方は、右記申し込み用QRコード、または、申し込み用URLより「申し込みページ」にアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。オンライン参加を希望される方には、後日、入力していただいたメールアドレス宛に参加方法をお知らせします。

◆申し込みの締め切りは11月30日(木)です。

申し込み用ページはこちら



<https://forms.office.com/r/11KtvXNZV8>

問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス事務部総務課(地域教育文化学部担当)

E-mail: yu-kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL: 023(628)4304

※土、日曜日の電話は繋がりません。メールにてご連絡ください。

※お問い合わせの際は、「氏名、所属」を必ず明記してください。

※@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定をお願いします。

当日に ついて

- 各回、12時15分から受付を開始します。
- ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの際は近くの有料駐車場をご利用ください。主な大学付近の有料駐車場は以下の通りです。

- ・システムパーク山形大学前
- ・タイムズ山形大学前
- ・パラカ山形大学野球場西側駐車場
- ・パラカ山形市東原第一

●服装は自由です。

●使用するテキストはこちらで用意します。昨年度までに本企画に参加したことがある方はテキストを持参してください。

●オンライン会場はZoomを使用します。Zoomアプリのダウンロードや、通信環境の確認等、前日までに参加者各自でご準備ください。通信料金の負担等を含め、主催者が対応することはできません。

令和5年（2023年）11月2日

「後醍醐天皇と足利尊氏～ライバルたちのレクイエム～」 ～南北朝の動乱を生きた6名の古文書を展示中～

【本件のポイント】

- 山形大学中央図書館所蔵の重要文化財「中条家文書」から貴重な古文書6点を山形大学附属博物館で展示中。
- 建武の新政を打ち立てた後醍醐天皇や、南北朝に活躍した武士などをその古文書とともに紹介しています。
- 11月11日(土)に本展を監修した大喜直彦教授による「展示解説会&歴史の集い」を行います。



後醍醐天皇綸旨

【概要】

昨年度、大河ドラマに合わせ中条家文書より鎌倉時代黎明期の古文書5点を紹介しました。今年度は鎌倉時代を滅亡に追いやった後醍醐天皇、足利尊氏、足利直義、高師直、護良親王、尼浄智（付新田義貞）6名の古文書を展示します。歴史上、天皇家が二つに分かれる特異な時代である南北朝時代の古文書をきっかけとし、動乱期に翻弄された人物に興味を持ってもらうことを目的とした企画展です。

【背景】

山形大学が所蔵する「中条家文書」は、昭和47年（1972）に中条敦氏により本学に譲与され、平成4年（1992）にはそのうちの223通が重要文化財に指定されました。

中条氏は相模国三浦半島の有力者、和田一族を出自としています。鎌倉時代から連綿と続く名族であり、中条家に伝来した文書群は中世越後国の戦乱や土地支配・一族の相克を映し出す貴重な史料群となっています。

昨年度、鎌倉幕府黎明期の古文書5点を展示し、大河ドラマや歴史愛好家の方から好評をいただきました。今年度は、後醍醐天皇、足利尊氏など6名の古文書を紹介します。

写真の「後醍醐天皇綸旨」は後醍醐天皇が中条茂継の越後国奥山庄中条・阿波国勝浦山・相模国津村の知行地を三浦和田三郎茂継へ元のように安堵（保障）したものです。鎌倉幕府を倒し建武の新政をスタートさせた頃の後醍醐天皇の足跡をたどる貴重な史料です。

【関連企画】

●展示解説会&歴史の集い

講 師：大喜直彦（山形大学学術研究院教授 地域教育文化学部担当）

日 時：11月11日（土）13時30分～14時30分

定 員：15名（先着順）

申込方法：下記フォームかお電話にて受付。

《<https://forms.office.com/r/CwEKMr1UWN?origin=lpLink>》

締め切り：11月7日（火）

●ギャラリートーク

講 師：大喜直彦（山形大学学術研究院教授 地域教育文化学部担当）

日 時：11月20日(月)18時00分～18時30分

対 面：申込不要・定員なし

お問い合わせ

学術情報部学術情報課／山形大学附属博物館（押野）

TEL 023-628-4930 メール yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

オンライン（Zoom）：下記のアドレス、ID よりお入りください。

<https://zoom.us/j/92179272476?pwd=QU5XRTc2SXNvaW5ERms3Vm5lQXdFZz09>

《ミーティングID：921 7927 2476》

《パスコード：198788》

会期 令和5年(2023)

10/25 水

12/7 木

展示解説会&歴史の集い

※お申込み方法は裏面をご覧ください

日時

11月11日(土)
13時30分～14時30分

大喜直彦館長による展示解説会の後、古文書や日本史についてざっくばらんに語り合う集いを行います(定員15名・要申込み)

後醍醐天皇 と 足利尊氏

ギャラリートーク

大喜直彦館長による展示解説(対面・オンライン)

日時

10月30日(月)
11月20日(月)

18時～18時30分
※詳細は裏面をご覧ください

ライバルたちのレクイエム

後醍醐天皇綸旨 / 建武2年6月20日

足利尊氏御判御教書 / 文和元年12月17日

足利直義軍勢催促状 / 建武5年閏7月10日

大塔宮(護良親王)令旨 / 元弘3年正月20日

室町幕府執事高師直奉書 / 康永4年7月18日

※すべて山形大学中央図書館所蔵
重要文化財「中条家文書」

尼浄智申状(付新田義貞国宣) / 建武元年3月18日

開館時間

9時30分～17時

ただし、10月30日(月)、11月20日(月)はギャラリートークのため19時閉館

休館日

土日祝、および11月15日(水)、16日(木)

※10月27日(金)、11月14日(火)は14時閉館

特別
開館

11月23日(木・祝)
10時～16時

お問合せ 山形大学附属博物館 ☎023-628-4930

〒990-8560 山形県山形市小白川町 1-4-12/Fax023-628-4668/E-mail yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

アクセス

山形駅前より「ベニちゃんバス東くるりん東原町先回りコース」乗車「山大前」下車徒歩2分。
詳しくは山形大学 HP をご覧ください。

中条家文書とは

山形大学が所蔵する「中条家文書」は、昭和47年に中条敦氏により本学に譲与され、平成4年にはそのうちの223通が重要文化財に指定されました。

中条氏は相模国三浦半島の有力者、和田一族を出自としています。鎌倉時代から連綿と続く名族であり、中条家に伝来した文書群は中世越後国の戦乱や土地支配・一族の相克を映し出す貴重な史料群となっています。

昨年度、大河ドラマに合わせて中条家文書より鎌倉時代黎明期の古文書5点を展示しました。今年度はその鎌倉幕府を滅亡に迫りやった後醍醐天皇、足利尊氏など6名の古文書を紹介します。本展は日本史上特異な時代である南北朝期に活躍したその6名についてスポットを当てた展覧会です。

展示史料

※すべて山形大学中央図書館所蔵
重要文化財「中条家文書」



足利尊氏御判御教書(文和元年12月17日)

後醍醐天皇綸旨(建武2年6月20日)／
室町幕府執事高師直奉書(康永4年7月18日)／足利尊氏御判御教書(文和元年12月17日)／足利直義軍勢催促状(建武5年閏7月10日)／大塔宮(護良親王)令旨(元弘3年正月20日)／尼淨智申状(付新田義貞国宣)(建武元年3月18日)
以上6点

後醍醐天皇 と 足利尊氏 ライバルたちの レクイエム

会期 令和5年(2023)
10/25(水) ~ 12/7(木)

関連企画

ギャラリートーク

対面・オンライン(Zoom)開催
大喜直彦館長による展示解説

日にち: 10月30日(月)

11月20日(月)

時間: 18時~18時30分

対面: 申込不要・定員なし

Zoom: 時間になりましたら下記ID・
パスコードよりお入りください

ギャラリートーク



【ミーティングID】

921 7927 2476

【パスコード】

198788

展示解説会&歴史の集い

展示室でじっくり鑑賞会

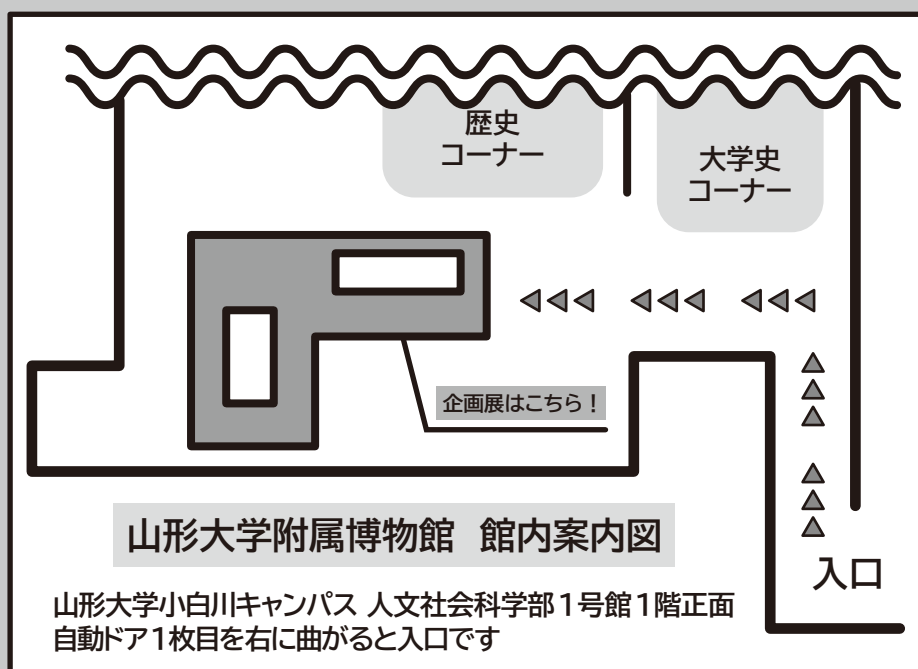
日時: 11月11日(土)

13時30分~14時30分

申込方法: 下記フォームかお電話にて受け付けます(11月7日締切)



要申込み
定員15名
(先着順)



お問合せ 山形大学附属博物館

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12

TEL 023-628-4930 Fax 023-628-4668

E-mail yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



状況によりイベントが延期・中止になる場合があります。
詳しくはホームページをご覧ください。

令和5年（2023年）11月2日

小白川キャンパスで「炊き出し訓練」開催

—留学生や近隣の皆様と一緒に活動しながら地域防災について考えます—

【本件のポイント】

- 山形大学国際化推進事業支援プログラムの活動助成を受け、小白川キャンパスを会場に炊き出し訓練を開催する。
- 英語、中国語、韓国語のレシピを用意し、調理を一緒にしながら交流する。さらに留学生向けに防災リーフレットを作成し配布する。



【概要】

地域教育文化学部3年次選択必修科目「フィールドプロジェクト E5 まちづくりと防災」では、山形大学国際化推進事業支援プログラムの活動助成を受けて、以下のように炊き出し活動を行います。

目的

- (1) 当該科目の受講者が、本学小白川キャンパス近隣の住民との交流を通して、地域防災を意識したまちづくりの意義を理解する。
- (2) 受講生に加えて、本学で学ぶ短期・長期の外国人留学生も、芋煮汁の炊き出し調理・試食を地域住民と交流しながら行うことで、留学生に日本における災害と災害時の生活の一端を見てもらい、防災意識を高めてもらう。
- (3) 本学小白川キャンパス内避難所開設を想定した炊き出し訓練を行うことで、本学の学生において被災時の学生ボランティア活動への理解を促進するとともに地域住民にも町内会自治管理の重要性を意識してもらう。

日時 11月29日（水）13：00—17：00

- | |
|---|
| 13：00 受講学生及び希望者（留学生・地域住民）が集合し、炊き出し用にテント等を設営し、炊き出し用カマドで芋煮汁を調理する。 |
| 14：30 頃 炊き出し試食開始予定 |

場所 本学小白川キャンパス地域教育文化学部1号館前

本企画への参加者想定 受講学生、本学留学生、地域住民、大学教職員など

【背景】

昨年度から山形大学国際化推進事業支援プログラムの活動助成を受けて、事業を開始した。初年度の2022年度はコアメンバー（学部授業担当者、学生支援課留学支援担当、小白川町二区南自治会、日本語教育担当教員）の関係構築とキックオフ的活動（平日の昼休みに開催する防災ランチ）を実施した。本年度は2年目にあたり、地域教育文化学部の正課授業（フィールドプロジェクト）に組み込み、本格的な活動を実施している。

小白川キャンパスに学ぶ学生（日本人・留学生ともに）と地域住民が、1) 小白川地区および日本文化をお互いに紹介・交流する活動を通じて、2) 地域環境（山形五堰・笹堰など）の歴史の理解および保全を図る。3) 留学生も含めた災害時における避難行動様式を確認・検証する、ことを目指して活動している。

【今後の展望】

地域教育文化学部3年次選択必修科目「フィールドプロジェクト E5 まちづくりと防災」の活動として、来年度以降も継続的に実施します。また、留学生や地域住民との日頃からの協力関係を築いて、地域防災に貢献できるよう、さらに多様な活動へと発展させます。

お問い合わせ

学術研究院 石垣和恵（地域教育文化学部児童教育コース）

TEL 023-628-4356 メール ishigakika@e.yamagata-u.ac.jp